

四万十町の学校訪問(17) 北ノ川小学校の風景



国道381号を大正地区へ向かい、弘瀬のトンネルを抜けると校区です。右手の山が途切れ、支流相去川と本流四万十川との合流点に学校があります。明治7年創立以来138年を迎えています。

毎年5月には、学校のすぐ東の山にある歓喜寺境内の茶畑で、児童が茶摘み体験をさせていただいています。

校庭西に隣接する栗林の所有者の好意で、秋に児童は、栗拾いを体験でき栗の実を生活科や家庭科で活用しています。



全校児童は41人とここ数年は横這いで推移しています。複式学級のある小規模校です。

同一敷地内に中学校があることを生かして、運動会等の学校行事や校内研究、学校運営など可能な範囲で連携した教育活動をしています。PTA活動でも小・中学校で一つの組織として活動しています。

地域の方々とつながりを生かして、校区の学習、稲作、製茶、苺や菊の農作業、エコ環境学習などで、普段から多くの支援と協力をいただいています。

2月には地域への感謝の思いを込め、学習発表会、餅投げ、手作りエコ製品頒布などを盛り込み、北ノ川フェスティバルを開催しています。

本校は、以前から陸上運動が盛んで、一年を通して朝のランニングを継続しています。放課後の陸上クラブにはほとんどの児童が参加して体を鍛えています。



〔お問い合わせ先〕北ノ川小学校 26-0004

こんにちは。アンニョンハセヨ ^^)

皆さん、
こんにちは。スミンです。

お元気ですか。
夏休みの時期には日本と韓国は花火祭りがありますが夜空を美しく開かれる花火は私たちの目を輝かせます。

韓国では9月終わってから世界花火祭が行われます。
それで今回は韓国の花火祭りについて紹介します。

花火祭りを通して21世紀韓国のビジョンを改めて提示して、民族の和合を図る喜びと希望の場を作られるため行われる行事で最初2000年10月に開催されました。

後、毎年9月終わってから10月の間にソウル市漢江市民公園で行われる国際的な花火祭りです。



日が落ちて辺りが暗くなる8時頃から始まり30分くらい続けます。

2000年第1回は韓国、米国、日本、中国が参加し、2002年には韓国、米国、日本、中国、イタリアが参加しました。

2003年には9月27日から10月11日まで毎週土曜日(総3回)に行われて総4ヶ国が参加しました。

国家別、日付別に様々な種類の花火が見ることができ、祭りが終わった後には花火写真公募展で選ばれた作品が、63ビル展望台において記念写真展が開かれます。

